



兒雷也豪傑譚 上の巻 篇七



~13  
3878  
53

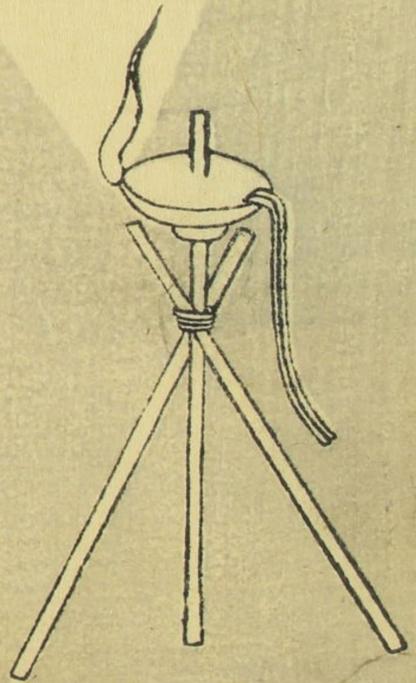


門 へ13  
 號 3878  
 卷 53

兒雷也  
 豪傑譚

上卷

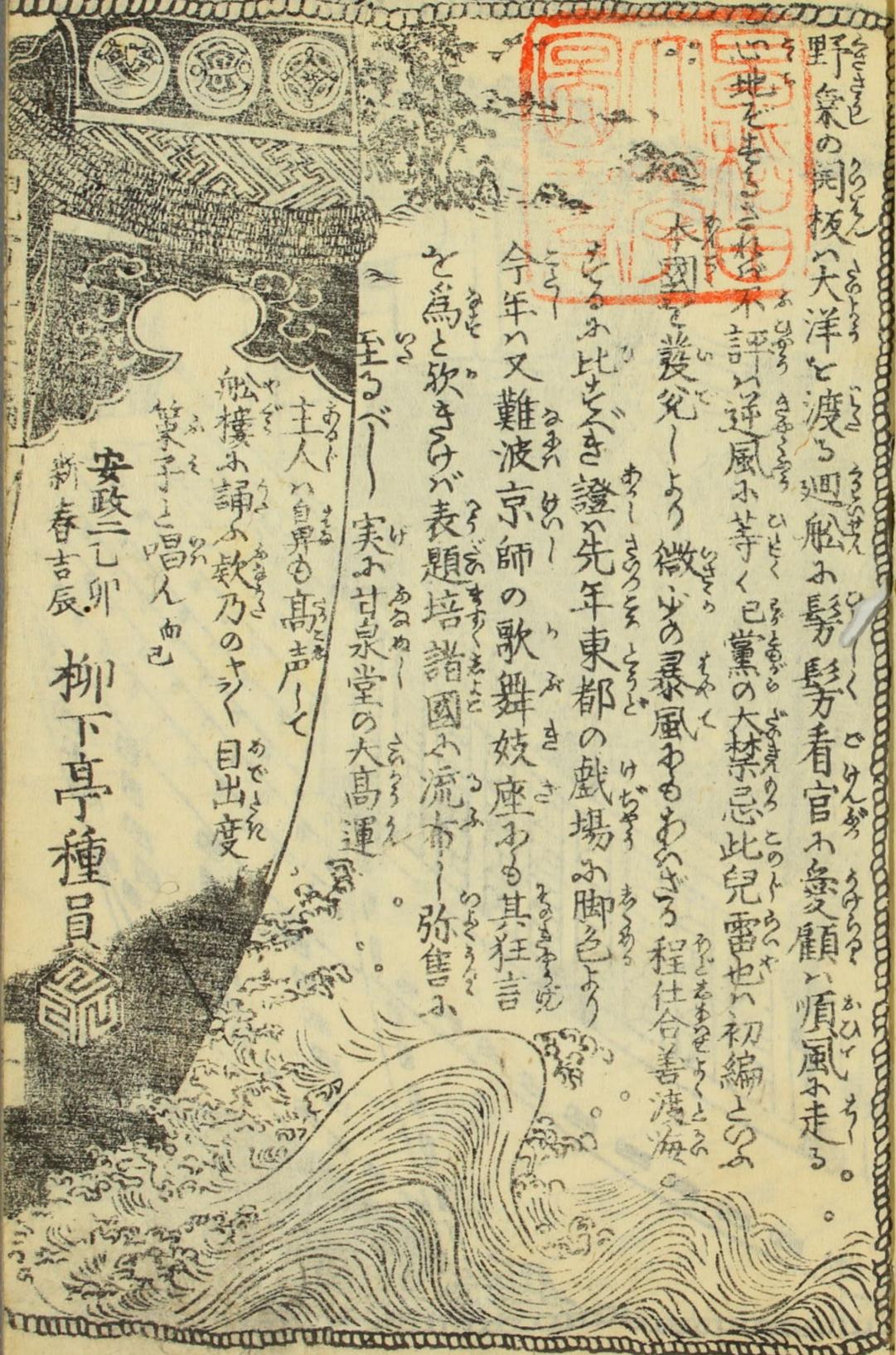
一 榊の亭作  
 一 壽高画



糸市 榊

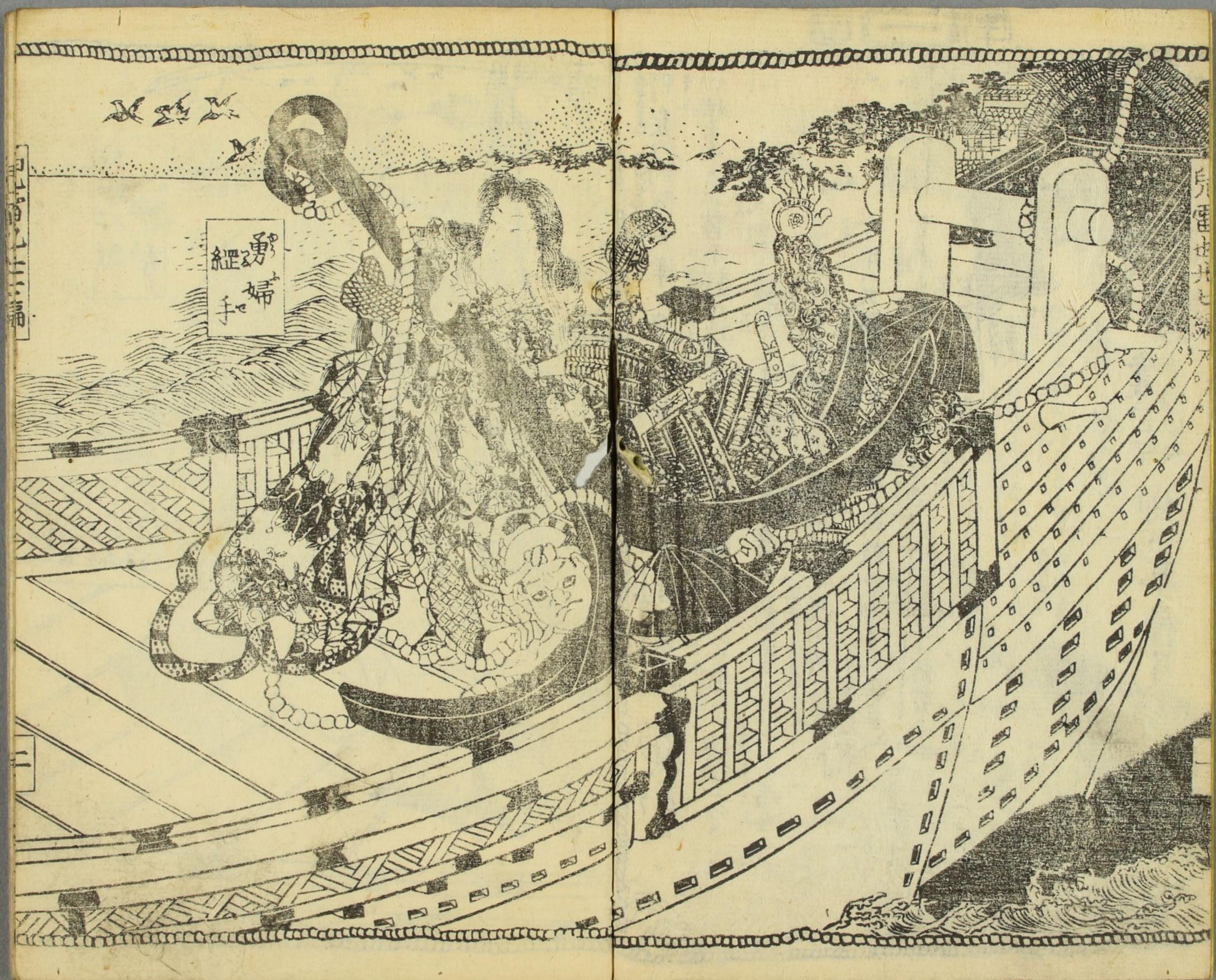


一



野氣の剛板へ大洋と渡り廻船小髻髻方看官不愛顧ハ順風小走。  
 心地をまじりて不評ハ逆風小等しく已黨の大禁忌此兒雷也ハ初編との  
 本國を羨兒より微少の暴風やあはさる程仕合善渡海。  
 今更に比とてき證ハ先年東都の戲場ハ脚色より  
 今年ハ又難波京師の歌舞妓座ハ其狂言  
 を為と歎きひば表題培諸國ハ流布ハ弥售ハ  
 至るべし 実ハ甘泉堂の大高運

主人ハ自昇ハ高声して  
 船樓ハ誦ハ教乃のヤク目出度  
 箕子と唱人而已  
 安政三卯  
 新春吉辰  
 柳下亭種員



勇婦和

勇婦  
和

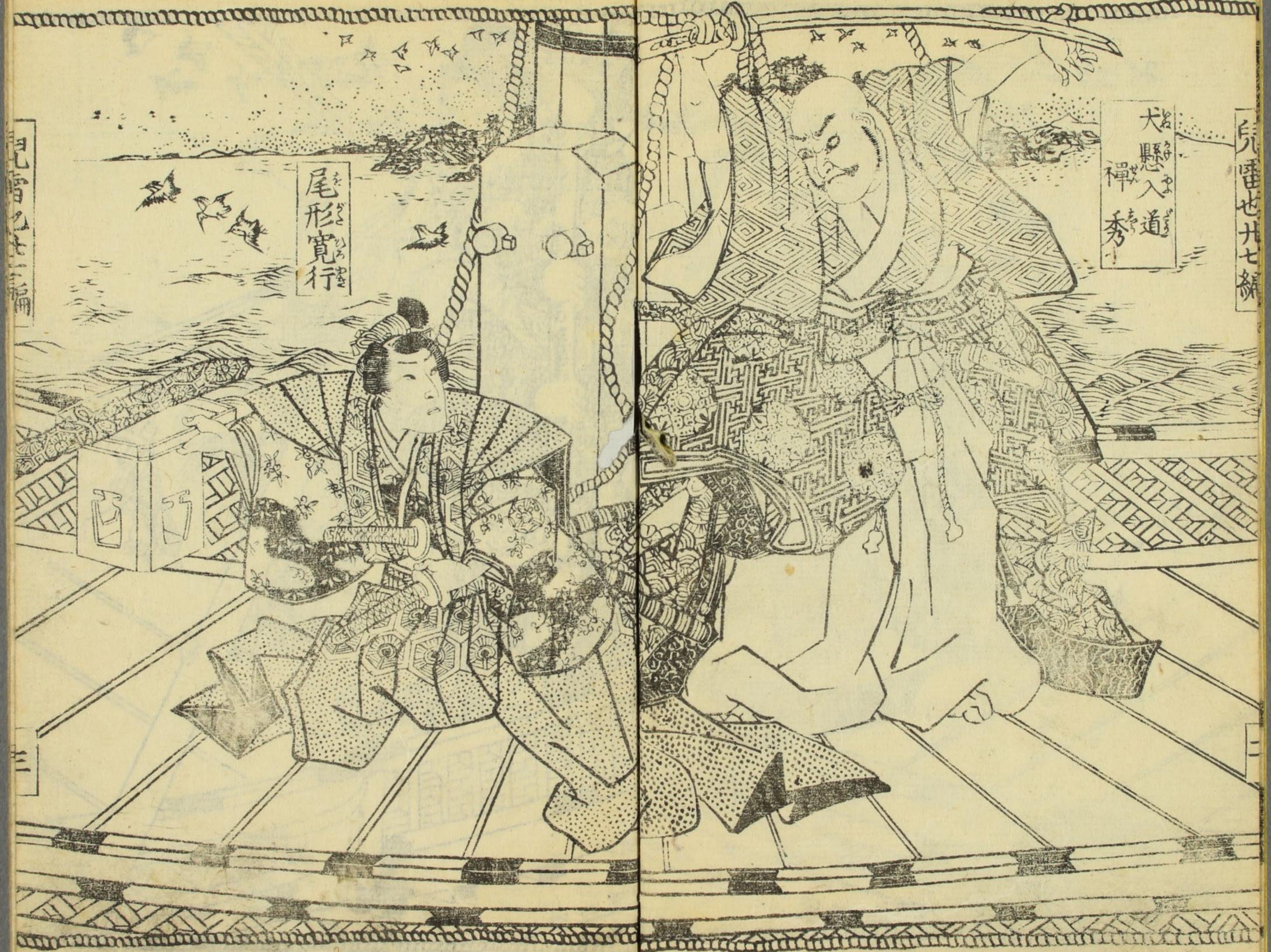
勇婦和

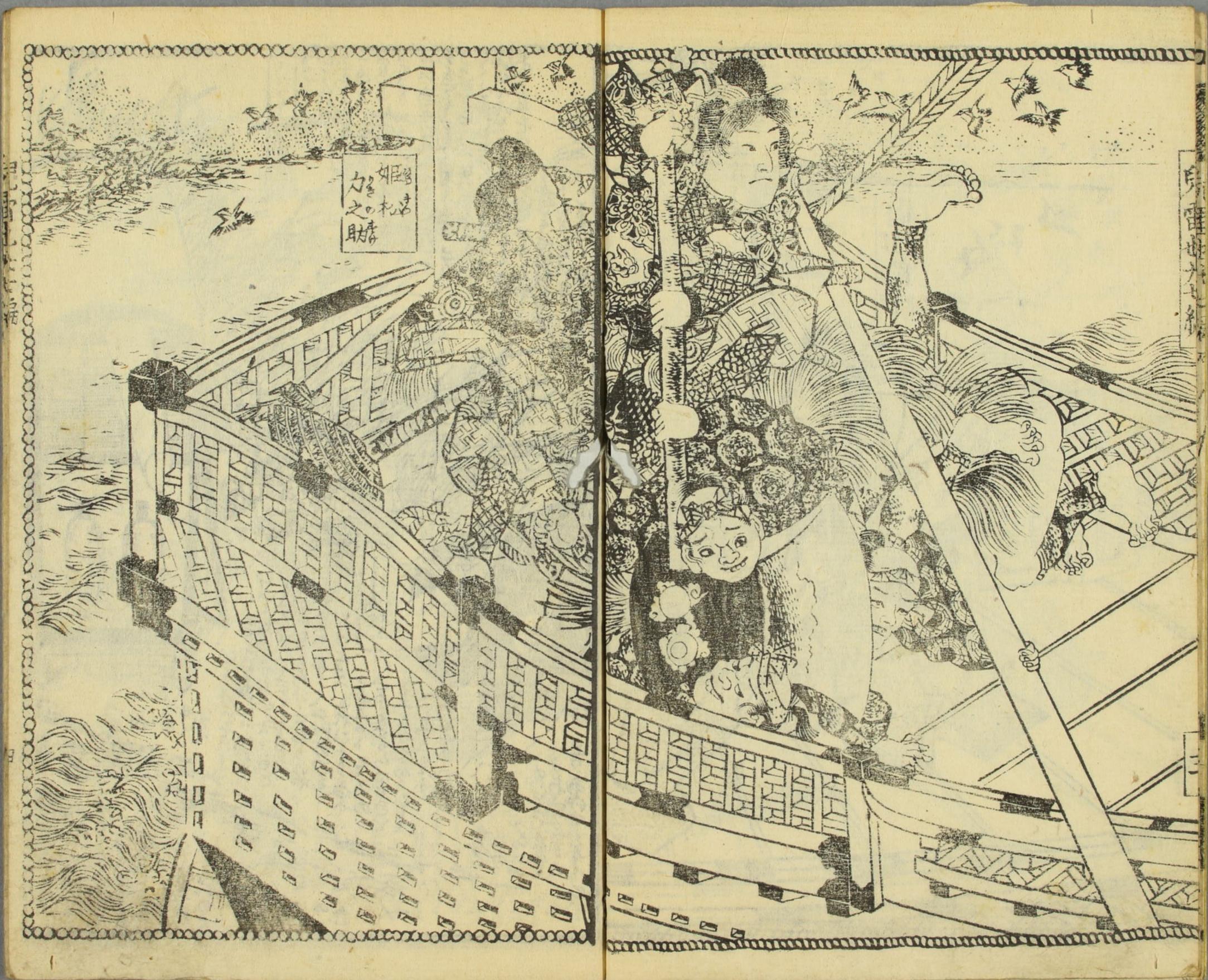
兒唾也九七編

犬懸入道  
禪秀

尾形寛行

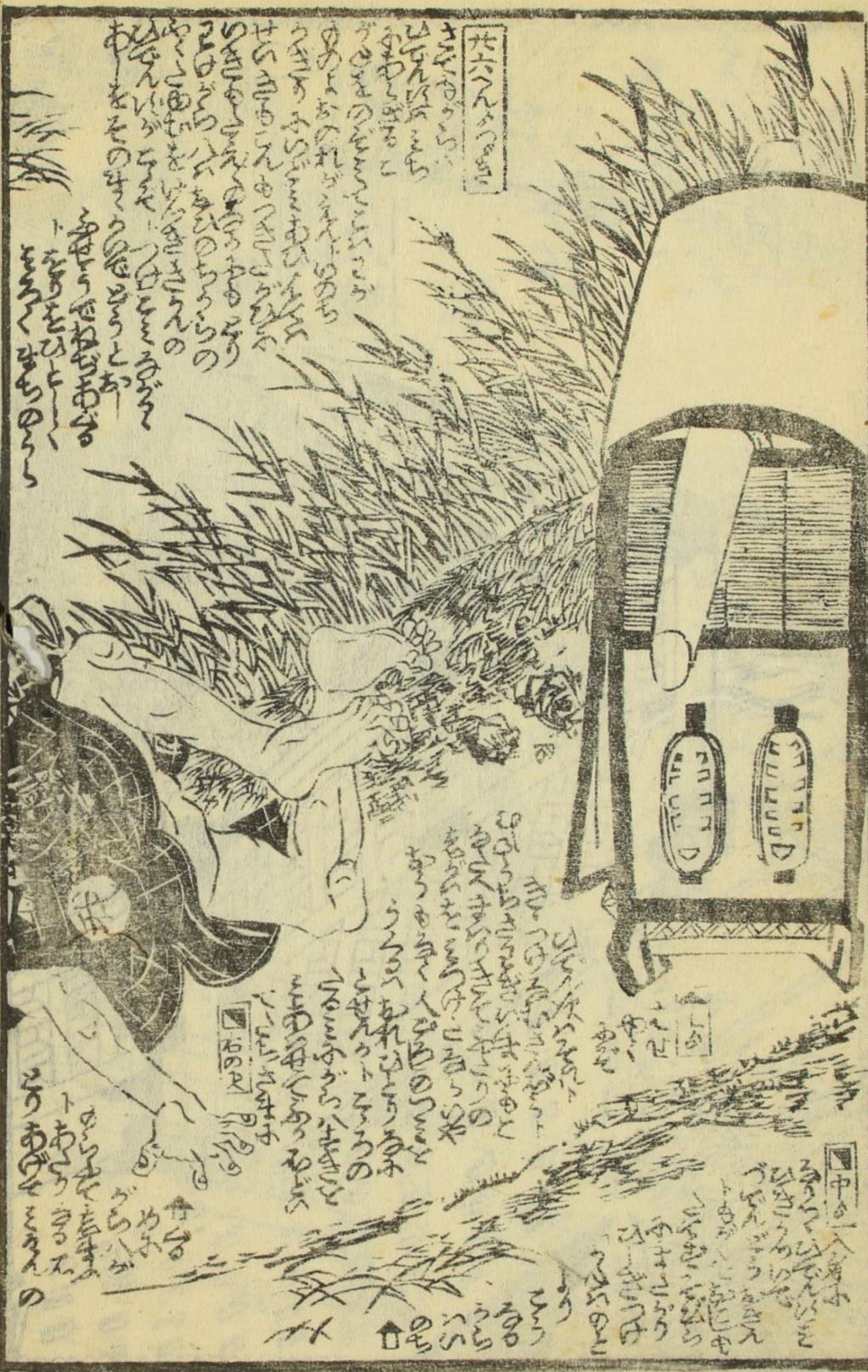
尾形寛行





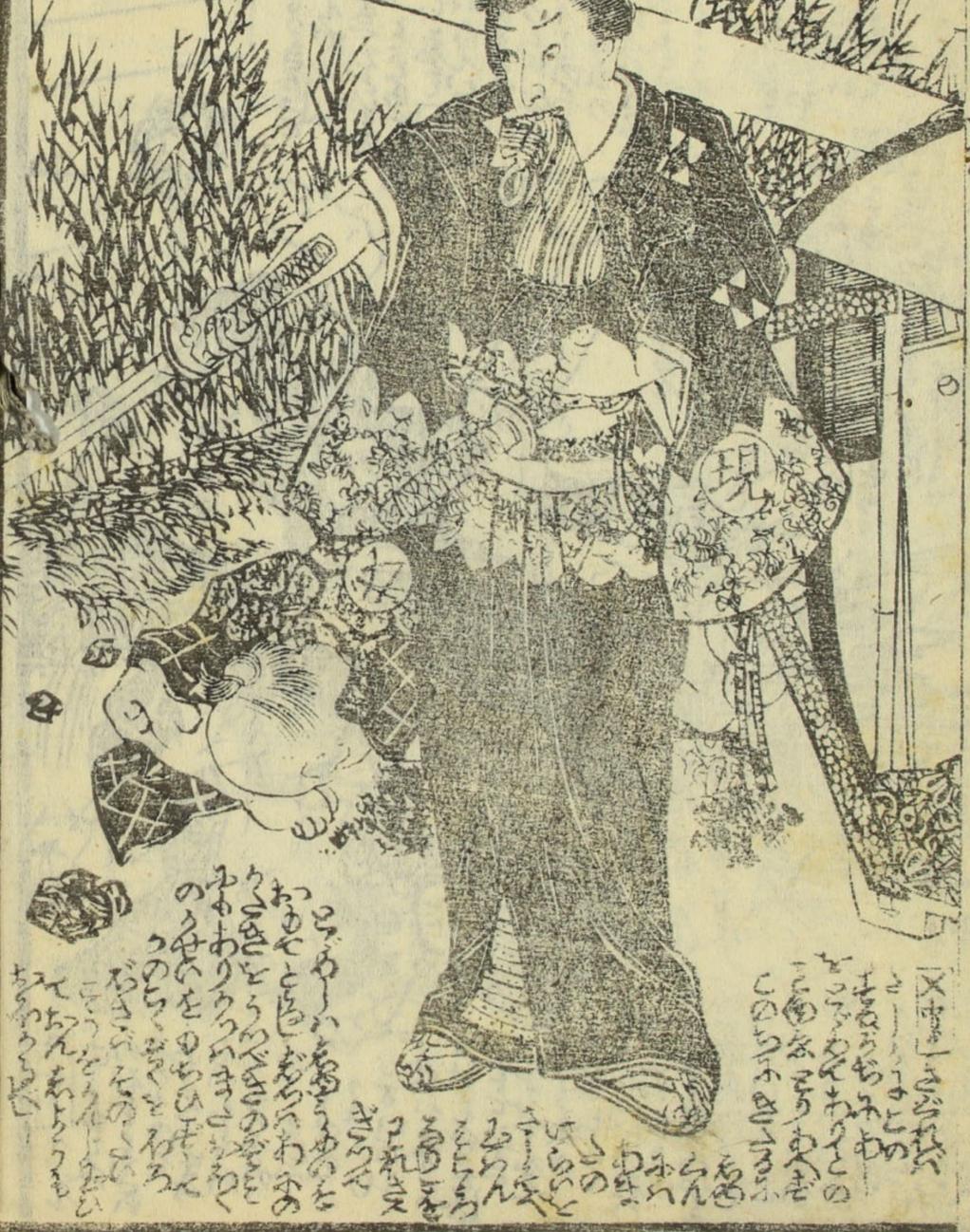
姉  
之  
助  
松  
之  
助

舟  
中  
之  
婦  
女





おのれは...  
おのれは...  
おのれは...  
おのれは...



おのれは...  
おのれは...  
おのれは...  
おのれは...

おのれは...  
おのれは...  
おのれは...  
おのれは...



おのれは...  
おのれは...  
おのれは...  
おのれは...







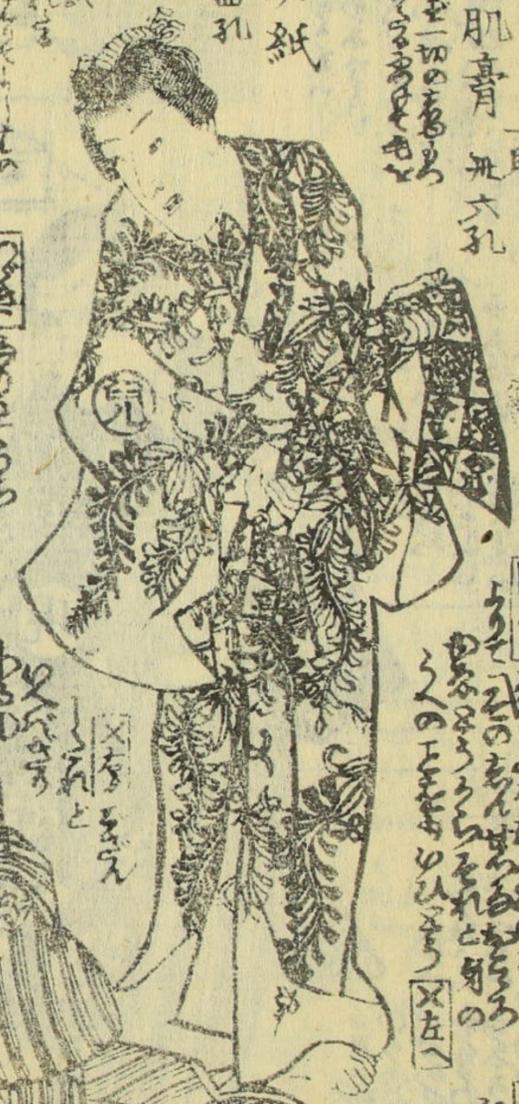
行刊普新

黄金水大盡  
 清淨道中膝栗毛  
 芝神前  
 甘泉堂梓

休草紙  
 十六番十七番  
 同作同画

種員作國光画

禁王産生肌膏 一月  
 六孔  
 金瘡 奇切紙  
 一枚廿四孔



製茶所 新吉原 樓  
 取次所 真乳堂石坂下 柳下亭

左の巻入つて  
 右の巻入つて  
 又左へ  
 又右へ

